



節目の年を迎えられた皆様には、施設長からお祝いの色紙が手渡されました。



里だより

No.357

令和3年10月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



十月号もくじ

(ページ)

- 施設長より……………1
- 業務部より……………2
- 相談より……………3
- 職員より・調理場より……………4
- サービス向上委員会より・
行事報告……………5
- 施設PR委員会・行事予定・
ありがとうございました・
編集後記……………6



施設長より

敬老の日に



県下の感染者は減少傾向にあるものの、九月末までのまん延防止等措置の延長が決まり、まだまだ予断を許さない状況です。

このような状況があと二年は続くだろうとの予想もされているようです。やがてくるであろう第六波に備え、出来る限りの予防に努めます。

さて、これまで本誌でも紹介した通り、本国の高齢者増加と同様、当施設の高齢化も進んでいます。九月の半ばに敬老会を催しましたが、今年度、六十歳以上の方は、二十五名と入所利用者の四十八%にも及びます。WHOでは六十五歳以上を高齢者と定義づけていることから、それに合わせると三十七%となります。最高齢は九十二歳。節目の年となられたのは、米寿一名、傘寿二名、喜寿二名、古希二名、還暦一名でした。大半の方が、当施設と共に年を重ねてこられました。

「親亡き後の終の棲家」を目指し、設立に至った経緯がありますが、私たちには、利用者さんが充実した生活を過ごし、年齢を重ねられたのかを見直し、これからの生活を安心できるように支援しなければならぬ責があります。昔出来ていたことが出来なくなる。身体的にも精神的にも低下してくる。変化、変調に気づき、状況を受け入れ、その時々々の尊厳を守る。それが利用者さんに携わる仕事をする上での責任であり、一番の魅力だと思っています。一般的に人は何かしら自己中心的に動いたり、考えたりします。また自分と比較し、出来ない人を蔑んでしまいがちです。それは

致し方ないサガなのかもしれませんが、やはりさみしいものがあります。

「子供叱るな来た道だ。年寄り笑うな行く道だ」という言葉があるようです。子どもの声がうるさくて公園で遊ばないようにとの苦情や、介護が必要な高齢者を疎むニュースもありました。これまで来た道、これから行く道が見えていない状況なのでしょう。私たちが行く道としている道を照らししてくれるのは何なのか考えた時、利用者支援や高齢者介護の姿勢や根底に、その答えがあるのではないのでしょうか。

敬老会の挨拶の為、九十二歳最高齢の利用者さんの時代背景を調べてみたところ、テレビ・洗濯機・冷蔵庫もない時代、十二歳の時には第二次世界大戦を経験されました。同じ年の著名人に、村田英雄、五社英雄、鈴木健二、草間彌生、オードリー・ヘプバーンがいる。相手を知ろうとすると、私たちの知らないものを見聞きされ、知らない歴史を体験されていることが分かります。その方への興味があふれてきます。また、普段から、何があっても動じずニッコリ笑顔で返されます。身近に、大きな経験をされている大先輩がいることの心強さを改めて感じました。

二年程前だったか、お笑い芸人スピードワゴンの小沢一敬さんがこんなことを言っています。「何をしゃべれるかが知性、何をしゃべらないかが品性」なぜかこの時期に無性に思い出します。

利用者さんを中心にコミュニケーションをとっていく私たちは感情に流されない心と態度で、知性を身につけ、品性も失わないうようにしたいものです。

施設長 松永一博

業務部より

健康になれるスープ



早いもので九月も下旬となり、令和三年度の上半期が終わろうとしています。

つくしの里では、半期ごとに事業を振り返り、達成できた内容、未達成の内容を精査し、下期へつなげることにしています。半期の状況については、理事会に報告するので、十月に入ったら早々に資料をまとめなければなりません。

各部門、事業計画の進捗状況を検証していきますが、今回は栄養部門の令和三年度取り組みを紹介します。

四月の給食会議で、利用者さんに令和三年度のカリキュラムをお知らせしました。一年分の給食会議の議案や、月間目標、年間目標等です。管理栄養士からは、栄養部門として特に力を入れていくこととして「健康になれるスープ」を毎月の献立に取り入れると説明がありました。ミキサー食の方から常食の方まで、美味しく食べられて健康になれるスープです。

上半期のメニューは次のとおりです。

○四月 にんじんポタージュ

給食会議の出席者（利用者・職員）全員で試食しました。

人参が苦手な方も美味しく食べられました。

○五月 さつまいもポタージュ

材料には、地域の方からいただいた大津町特産の甘藷を使い、さつまいもの風味豊かなスープができあがりしました。

○六月 干しシイタケのあつさりスープ

天草の荅山寮さんから購入した干しシイタケを使い、和風だしのあつさりスープでした。

○七月 ビンソワーズ

夏のバイキングメニューに冷たいスープが登場しました。

○八月 冷や汁

宮崎の郷土料理でもあり、食欲が落ちる暑い日にぴったりでした。

○九月 ポタージュ・ボン・フアム

数種類の野菜を炒めて煮込んで濾して、手間をかけ丁寧に作る「良い女性」という意味のフランスのスープでした。

利用者さんの高齢化が進み、噛む力、飲み込む力が弱くなり、好きな物が食べられなくなった方も増えました。バイキング昼食や行事食の度に、ミキサー食や刻み食の方にどのように料理を美味しく楽しんでいただくか、栄養部門の悩みの種です。

今回のスープメニューはどんな食事形態の方も食べられるようにと、試作にも余念がありません。私も試食させてもらうことがありますが、美味しくできていて、身体にも良さそうでした。寒くなる下半期は、益々スープメニューが楽しみになります。委託業者の日清医療食品さんと協力して、秋を味わい、冬を乗り越える美味しいスープを期待しています。



栄養士お手製
メモを添えて
配膳します

業務課長 光永 明日美

相談より



「コロナウイルスから学ぶこと」

このコーナーはだいたい半年に一回順番が回ってくるのですが、前回、前々回と新型コロナウイルスの話題に触れたにも関わらず、未だに状況が変わっていないことにもどかしさを感じてしまいます。当初からすると、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出たり、ワクチン接種も順次進んでいたり、感染拡大防止に向けた取り組みも進んでいます。なかなか終息の見通しは立たない状況です。しかしながら、サービスを利用して頂くことのある方がたみや、実際に訪問することの重要性を再認識するなど、コロナウイルスが流行したことで改めて気付いたことも多いような気がします。

ここからは個人的な話になりますが、そんな中、ついに大津町の中学校でもクラスターが発生し、校区にある小学校も一時期臨時休校となりました。しかし、休校とはいえ、午前中は一人一台ずつ配布されたタブレットによるオンライン授業ということで、子どもを学童に預けるのも難しい状況になりました。長男が五年生、次男が二年生。本来であれば、十分に留守番できる年齢だと思いますが、今までなかなかそういった機会もなく、長時間子どもだけで過ごすことに親としては不安な状況でした。朝は戸締まりや家電の取り扱いなど、事細かにやるべきこと、やっつけてはいけないことを伝え、家を出しました。

妻の職場よりも私の方が家に近い為、昼休みに一旦自宅に戻り、

一緒にご飯を食べることにしました。家に帰ると「寂しかった」と抱きついてくるかと思いきや、二人とも「おかえり」の素っ気ない一言。日頃からそんなに冷めた関係ではないのですが…。

初日からタブレットの充電が切れるアクシデントはあったようですが、どうにか先生にも伝わり、凌ぐことができたようです。親の心配をよそに二人で仲良く過ごし、昼食の配膳の準備までしてありました。やればできるじゃないかと思う反面、今までそういった機会を与えていなかったこと、過保護だった部分に関して、反省してしまいました。留守番に限らず、他にも本人たちの成長の機会を奪っていることはないかと考えました。その背景には必要に迫られていないのが一番ですが、できないだろうという思い込みもあったのだと思います。今回の休校がなければ、いつまでも経験することはなかったかもしれません。

この視点というのは、日頃の相談員として、支援員としての自分で考えれば、真逆のものになります。一見マイナスに感じることも多いように見えても、その中で強みを見つけて、それを生かして、上手くいく方向に導いていくのが本来のありべき支援だと思えます。人にはそう言いながら、プライベートでは矛盾している自分がいることに気付きました。

今後は子どもの成長を考えていくことはもちろんですが、利用者さんの支援についても、サービスの計画書を作るにしても、思い込みは捨てて、「できるかもしれない」を基本として、実現する為にどういった支援をするのかを中心に考えていくようにしたいと思えます。

相談支援専門員 井上 真次

職員より



私が在籍する生活介護班2班で、担当して6年目になるKさんについてお話ししたいと思います。Kさんは行事やドライブ外出が大好きで、班外出や外食、遊園地へ出掛ける個別外出を楽しまれていました。しかし、昨年度から猛威を振るうコロナウイルスの影響で思うように外出・外泊が出来ない状況となりました。

新年度のスタートにあたり、支援計画のひとつに「外出をする（マスクの着用）」という目標を掲げました。4月当初は、計画した私自身も周囲のスタッフからも「本人の様子だとマスクの着用は難しいかも」という意見もありましたが、強歩時や通院時にマスク着用を促し、6か月程が経過すると、少しずつではありますが嫌がる事なくマスクを着用されるようになりました。固定観念で「〇〇は無理だろう」と決めつけるのではなく、利用者さん一人ひとりの可能性を疑わず、支援に臨む姿勢の大切さを感じる事が出来た貴重な経験となりました。利用者さんが楽しく笑顔で過ごすには何が出来るか、様々な角度から無限大の可能性を見出していければと思います。（支援員 外山）

いきいきグループに異動して、もうすぐ1年が経とうとしていますが、まだまだ分からない事ばかりで利用者さんにご迷惑を掛けてしまう事が多々あります。きらめきグループとは少し違って、いきいきグループの利用者さんの意思をくみ取る事がとても難しく感じています。この支援をやっていて本当に利用者さんの為になっているのか、生活しづらくなっていないか等考え、試行錯誤する日々です。コロナウイルスが流行っている中、外出も外泊も出来ず、どのようにしたらつくし里の中で楽しみを持って生活できるかを皆で考え、中庭でボールを使ったレクリエーションをする計画を立てました。

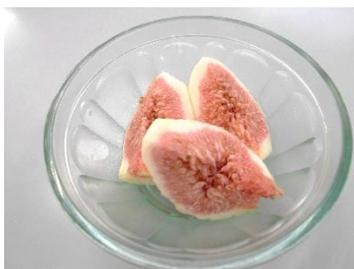
今後も利用者さんの為に何が出来るかを第一に考え行動する事を目標にして頑張っていきます。（支援員 錦戸）

調理場より

つくしの里では、ご家族の方やご近所の方より旬の野菜や果物をいただきます。今年の夏は、茄子は焼き茄子、瓜は酢の物、ゴーヤはチャンプルーや和え物、素材の味を活かして提供しました。果物はバナナやメロン、イチジクや梨もフレッシュで皆さん大変喜んで召し上がられました。給食会議で利用者さんに話をするときは、食材について復習します。「イチジク」を調べてみると栄養豊富もさることながら、日本では天草が発祥の地とされているそうです。今も天草ではイチジクの事を「南蛮柿」と呼ぶそうです。

おいしく食べるだけでなく、色々なことを学ばせていただいています。

（管理栄養士 奈須）



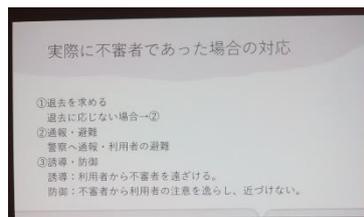
サービス向上委員会より

■ 緊急対応【主任支援員 平田・支援員 村上ま・松川・松尾り】

緊急対応では、様々な状況に応じて対応出来るように準備を進めています。

今年度は、防犯研修を行いました。実際に起きた事件を基に、もしも、つくしの里で事件が起きた場合のシミュレーションや事前に必要な物等を話し合いました。「まさかそんな事は起きないだろう」とか、「大丈夫だろう」と考えていると、いざという時に迅速には動きません。どのような事が起ころうと、対応出来るよう準備しておくことが緊急対応の役割です。防犯以外にも熊本地震や水害、現在陥っている新型コロナウイルスの蔓延等、多岐にわたりますが、利用者さんの安心・安全を第一に取り組んでいきたいと思えます。

(主任支援員 平田)



行事報告

※ 8/21 (土) ~9/20 (月) の実施分について報告いたします

★ 生活介護 4 班食事会【8月31日 (火) つくしの里】

本年度最初の班行事とあって、担当者も気合を入れ、美味しい食事 (お弁当) とビンゴ大会を行い、この日だけは楽しく過ごしましょう・・・と準備していたところだったのですが、急遽感染症対策の関係で中止となりました。皆さんにお伝えした時は、とても残念がられていました。しかし、何もかも取りやめでは悲し過ぎるので、お弁当だけでも (感染症対策をとって) 注文することにしました。

赤牛のハンバーグや新鮮なサラダ、カボチャの煮しめ、チョコや抹茶のケーキなど豪華な内容に利用者さん達の沈んだ気分も一気に持ち上がったようです。

第2回目の行事も予定していますので楽しみにして下さい!! (支援員 北島)



★ 敬老会【9月15日 (水) つくしの里】

昨年度と同様、各グループにわかれて敬老会を行いました。今年度、敬老のお祝いをした利用者さんは総勢 24 名。それぞれの方をDVDで紹介しました。昔の写真に顔を赤らめて恥ずかしそうにされる方、「僕だよー!」と嬉しそうにされる方、反応は様々でしたが、会場が温かい雰囲気になりました。これからもお身体に気を付けて、元気につくしの里を引っ張って頂きたいと思えます。

また、保護者会より馬場地区の高齢者の方へのプレゼントとして、今年度もお茶を準備していただきました。皆さん大変喜んでいらっしゃいました。ありがとうございました。

(支援員 上村ケ・松川・尾崎ア)

施設PR委員会 今月の1枚!



残暑きびしいですが、施設外周が
綺麗なのは、ひとえにSさんの
おかげです!

【シヨートステイ・
日中一時支援事業のご利用】
※今月も新型コロナウイルスの感染拡大
に伴い、受け入れを中止させて頂いて
います。

今月の掲載分は、
令和三年八月二十一日～
令和三年九月二十日です

ありがとうございます
ございました

行事予定



☆ 秋の里まつり (つくしの里)

期 日：10月28日(木曜日) 11:00～15:00

内 容：昨年度と同様、利用者さんと職員で
ささやかな園内のまつりを計画しています。
神輿や屋台メニュー、抽選会で盛り上がりたい
と思います。



【寄付・寄贈】

- ・今坂 桂子 様
- ・内田 節代 様
- ・田代 栄助 様
- ・高宗 信雄 様
- ・藤本 美紀 様
- ・光永 順子 様
- ・陣内 食堂 様
- ・岩根 亨 様
- ・後藤 弘子 様
- ・高宗 良子 様
- ・中島 茂 様
- ・藤本 睦美 様
- ・柳瀬 けさみ 様
- ・お茶の 堀野園 様

【ボランティア】

※今月も新型コロナウイルスの感染拡大
に伴い、受け入れを中止させて頂いて
います。
誠にありがとうございます。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

編集後記

九月二十一日は、八年ぶりに十五夜と
満月が重なったそうです。夜空を見上げ
た方も多かったのではないのでしょうか。
私も虫の声を聞きながら日光浴ならぬ
月光浴をしました。良いものでしたよ。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、
記事の記載・確認をしておりますが、誤字
脱字等がございましたら、何卒ご容赦して
いただきます。